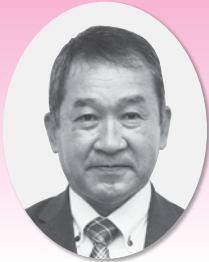


一般質問



交差点の安全・学校の安全について



こなんの未来 ● 奥村 幹郎 議員

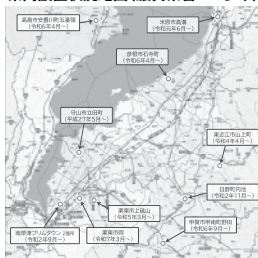
- 問** 交差点の安全について
- 答** 視認性の向上や通行環境の改善に向け安全対策を順次進めております。比較的即効性の高い対策を行うとともに、地域からの情報提供に基づく点検を継続的に実施し、より安全で円滑な交通環境の確保に努めております。
- 問** 信号機の設置要望について
- 答** 警察が設置主体であり、全国的にも、県内でも極めて採択が難しい状況となっております。交通量や事故発生状況等データを踏まえながら要望を県警に適切に伝えるとともに、採択に向けて継続的に働きかけてまいります。
- 問** ラウンドアバウト（環状交差点）の導入について



環状交差点の設置例

- 答** 外径25m～55mの用地が必要であり、安全性や経済性の観点から優位性を評価した上で導入の可否を判断する必要があります。国や他自治体の導入事例や効果検証を注視し、有効な施策となるかどうか研究を進めてまいります。
- 問** 道路の新設・新規の大規模開発等で、ラウンドアバウトの採用を検討するか。
- 答** 地域のご意見、交通実態、国や県の動向を重視しながら、ラウンドアバウト採用も含め検討・実施してまいります。
- その他、学校の安全について質問しました。**

県内設置状況地図（滋賀県警HPより）



公共交通における予約型乗用車活用について



自由民主党湖南市議団 ● 上野 顕介 議員

- 問** 公共交通において予約型乗用車を取り入れる考え方は
- 答** 運転手の高齢化や人員不足によって今後一部のバス運行維持が困難になってくるなかで乗用車の活用は重要な選択肢です。
- 問** バスのような路線運行とタクシーのような区域運行について
- 答** 本市は所定の路線および時刻による路線定期運行を基本としていますが、需要に応じた予約型の小型車両を活用する運行により移動ニーズに対応することが可能になると考えます。
- バス運行は多数の利用者がいる幹線区間や時間における輸送役割があり、可能な限り維持していきたいですが、一方で利用密度が希薄な地域、時間については需要に応じた運行方法が望ましいです。地域の実情に応じた様々な方法を検討して進めたいと考えます。
- 問** 住民・民間による送迎支援を活用したり補助したりする考えについて
- 答** 市内には民間主体の移動支援が多く見受けられます。こうした多様な団体による活動は地域交通を補完する重要な地域資源です。湖南市交通施策庁内検討会で移動資源についての検討調査を進めており、具体的な方向性を定めたいと思います。
- 例えば、補助金や実費補助、運営ノウハウの提供、ボランティアの協働募集、育成支援、保険加入支援、他の交通事業者との連携促進などの様々な視点で検証を行っています。